

各教科の「目標」の中でキャリア教育に関連が深いと思われる箇所

<p>国語</p>	<p>国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。</p> <p>「国語表現Ⅰ」 国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚を磨き、進んで表現することによって社会生活を充実させる態度を育てる。</p> <p>「国語総合」 国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。</p>
<p>地理歴史</p>	<p>我が国及び世界の形成の歴史的過程と世界・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。</p>
<p>公民</p>	<p>広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。</p> <p>「現代社会」 人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせ、現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p> <p>「倫理」 人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p> <p>「政治・経済」 広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。</p>
<p>数学</p>	<p>数学における基本的な概念や原理・法則の理解を深め、事象を数学的に考察し処理する能力を高め、数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを積極的に活用する態度を育てる。</p> <p>「数学基礎」 数学と人間とのかかわりや、社会生活において数学が果たしている役割について理解させ、数学に対する興味・関心を高めるとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し数学を活用する態度を育てる。</p> <p>「数学Ⅰ」 方程式と不等式、二次関数及び図形と計量について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。</p>
<p>理科</p>	<p>自然に対する関心や探求心を高め、観察、実験などを行い、科学的に探求する能力と態度を育てるとともに自然の事象・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。</p> <p>「理科基礎」 科学と人間生活とのかかわり、自然の探究・解明や科学の発展の過程について、観察、実験などを通して理解させ、科学に対する興味・関心を高めるとともに、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>「理科総合A(B)」 自然の事象・現象に関する観察、実験などを通して、エネルギーと物質の成り立ちを中心に(生物とそれを取り巻く環境を中心に)、自然の事象・現象について理解させるとともに、人間と自然とのかかわりについて考察させ、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。</p>
<p>保健体育</p>	<p>心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。</p> <p>「体育」 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。</p> <p>「保健」 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p>
<p>芸術</p>	<p>芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。</p>
<p>外国語</p>	<p>外国語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や相手の意向などを理解したり自分の考えなどを表現したりする実践的コミュニケーション能力を養う。</p> <p>「オール・コミュニケーション」 日常生活の身近な話題について、英語を聞いたり話したりして、情報や考えなどを理解し、伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。</p> <p>「英語Ⅰ」 日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養うとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。</p>
<p>家庭</p>	<p>人間の健全な発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会のかかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。</p> <p>「家庭基礎」 人の一生と家族・福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</p>

	<p>「家庭総合」 人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</p> <p>「生活技術」 人の一生と家族・福祉、消費生活、衣食住、家庭生活と技術革新などに関する知識と技術を体験的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。</p>
情報	情報及び情報技術を活用するための知識と技能の習得を通して、情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。
専門教育に関する各教科	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題研究」専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。 ・「工業技術基礎」や「ビジネス基礎」など各専門教育における基礎科目は専門領域への興味関心を高め、現代社会における専門領域の意義や役割を理解するとともに、社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

民間事業者に期待すべき収支改善のための創意工夫のポイント

- ・ 従来、しごと館は、キャリア教育を実施する公的施設として、収支を度外視してきたところであるが、包括的民間委託を行うに当たり、企業からの収入確保を含めた大幅な収支改善の工夫が行われるようにすべきではないか。

その場合、

- ① 民間事業者の収入改善のための創意工夫の内容として、どのようなことが考えられるか。

例：・企業からの広告収入

・企業のブース・テナントの設置

・企業の人材確保・育成施設としての活用 等

- ② キャリア教育施設という公的側面と、費用負担の面との関係をどのように考えるか。

- ③ その他の支出削減を含めた効率化の工夫が考えられるか。

収支の現状と分析

1 現状

(平成 18 年度収支状況)

	支出 (千円)	収入 (千円)
職業体験事業	595,517 (指導員謝金、設備保守費、 体験材料費等)	55,903 (体験料)
上記以外	319,093	2,746
展示事業	126,976 (人材派遣経費等)	1,313 (企画展入場料)
相談・援助/ ライブラリィ事業	189,115 (機器保守、機器リ ース費、嘱託謝金等)	1,059 (映像ソフト等販売料)
研修・セミナー事業	3,002 (講師謝金等)	374 (研修セミナー料)
共通	698,566 (職員人件費、館内 保守費、光熱費等)	78,012 (入館料 63,277、駐車 場利用料 6,610、企業広告・ 法人会員料 3,075 等)
計	1,613,178	136,662

※内訳等詳細は参考 1 参照

2 分析

(1) 事業収支について

① 職業体験事業

職業体験事業については、体験材料費、指導員謝金等の支出が不可避であり、これらを賄うためには、大幅な利用者負担増が不可避。

- 現在と同じ全てのサービス提供を維持し、収支均衡を前提とした場合、6000 円～7200 円程度の利用者負担増が必要。(※参考 2 参照)
- 職業体験事業の提供のみを維持し、収支均衡を前提とした場合、3800 円～5100 円程度の負担増が必要。(※参考 2 参照)

→ キャリア教育施策として、中・高生に幅広く利用してもらうためには、こうした大幅な利用者負担増は不適切ではないか。

② 職業体験事業以外の事業

職業体験事業とあいまったワンストップサービスの一環であり、現状では大幅な収支改善は困難。

→ しかし、民間事業者の大幅な裁量に委ねることとした場合、事業の廃止等による経費の節減や、企業展示・イベントや企業広告等による収入増、施設用途の転用（企業テナントの誘致等）による収入増等を想定することが可能ではないか。ただし、民間事業者の創意工夫によるため、予めその内容を想定することは困難。

③ 共通

しごと館施設の維持にかかる固定費の支出が不可避であるため、大幅な利用者負担増を行う以外には、大幅な収支改善は困難。

→ キャリア教育施設として、中・高生に利用してもらう上では、大幅な利用者負担増は不可能ではないか。

(2) アクション・プランとの関係

アクション・プラン（※参考3参照）は、全事業を維持し、入場料・体験料の値上げは行わないとの前提のもとで作られており、

○ 収入増要因として、

サービス利用者増による入場料・体験料収入の増、法人会員制度・企業広告費等収入の増による収入増

（自己収入額 1. 1 億円（H 17 度）→ 2. 2 億円（H 21 度））

○ 経費節減要因として、

設備・保守の内容や購入品目の見直し、人件費の削減等による経費節減

（事業費 13. 8 億円（H 17 度）→ 9 億円台（H 21 度））

（人件費 3. 8 億円（42 人）（H 17 度）→ 2. 6 億円（33 人）（H 21 度））

を考慮して策定したもの。

（参考：アクションプランの収支率の推移）

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
①自己収入額（百万円）	177	200	222
②支出額（百万円）	1,517	1,487	1,471
収支率（％）（①／②）	11.7	13.4	15.1

→ 民間事業者の大幅な裁量に委ねることとした場合、(1) ②と同様の収支改善の余地あり。

(3) 類似施設（博物館等）との比較

平成 18 年度の収支率は、私のしごと館の収支率が 8.5 % に対し、独立行政法人が運営する類似の公的施設の平均収支率は 19.8 %（※[参考 4](#)参照）。

→ 現在、私のしごと館の収支率は、類似施設の平均収支率の半分程度。しかしながら、私のしごと館は職業体験事業が中心となっており、職業体験事業については、体験材料費、指導員謝金等の支出が不可避であるため、コスト高となる要素を含んでいる。

平成18年度収支状況

	サービス利用者 数(千人)	支出			収入	
		支出額(千円)	主な内訳	(具体例)	収入額(千円)	内訳
職業体験事業	231 (職業体験 +ワークショップ)	595,517	謝金 消耗品 保守料等 業務委託 役務 印刷製本 負担金 借料	指導員謝金 体験材料費 設備保守費 (指導員補助等)業務委託 ユニフォームクリーニング 体験解説シート印刷 社会保険料 券売機リース料	18,501 87,135 184,544 283,059 17,209 2,729 1,108 962	55,903 体験料 55,903
展示事業	56 (展示体験事業 -職業体験 -ワークショップ)	126,976	人材派遣 企画展等 役務 印刷製本 業務委託	受付案内業務 イベント企画料 シアター修理 しごとまなびシート印刷 イベント業務委託	94,730 21,329 7,770 1,650 1,497	1,313 企画展入場料 1,313

(参考1)

平成18年度収支状況

	サービス利用者 数(千人)	支出			収入		
		支出額(千円)	主な内訳	(具体例)	収入額(千円)	内訳	
相談・援助事業	122	189,115			1,059		
ライブラリ事業	62						
			保守料等	86,849		書籍販売料	408
			情報システムの保守管理	34,979		ビデオ販売料	364
			ネットワーク関連機器の保守	26,670		サクセスノート販売料	282
			インターネット接続サービス	25,200		ガイドブック販売料	5
			借料 情報システム各種機器リース	51,382			
			謝金 嘱託謝金	23,095			
			業務委託 情報ゾーン業務委託	22,342			
			負担金 社会保険料	2,964			
			役務 レイアウト変更	1,824			
		印刷製本 リーフレット印刷	564				
		消耗品 書籍購入	96				
研修・セミナー	34	3,002			374		
		謝金 講師謝金	2,768	研修セミナー料	374		
		役務 セミナー開催経費	116				
		旅費 講師旅費	92				

平成18年度収支状況

	サービス利用者 数(千人)	支出			収入		
		支出額(千円)	主な内訳	(具体例)	収入額(千円)	内訳	
共通経費		698,566			78,012		
			職員人件費	職員給与	295,994	入館料	63,277
			保守料等		122,009	駐車場利用料	6,610
				日常運転監視及び点検	47,124	企業広告料	3,075
				館内警備業務	34,125	友の会会費	2,142
				館内清掃業務委託	19,530	施設利用料	1,071
				複写機保守	6,494	レストランテナント料	791
				植栽保守	4,845	ショップテナント料	120
				エスカレーター設備点検保守	3,276	その他	926
				エレベーター設備点検保守	2,898		
				自家発電設備点検保守	1,586		
				電話交換機設備保守点検	998		
				機械警備業務委託	756		
				駐車場管制設備点検保守	378		
			光熱費	電機・水道・ガス	96,061		
			人材派遣	経理事務業務	43,727		
			役務	特別高圧受変電設備点検	35,262		
			広告宣伝費	新聞折込広告	27,475		
			消耗品	照明電球・コピー用紙	26,160		
			謝金	産業医謝金	25,987		

平成18年度収支状況

	サービス利用者 数(千人)	支出			収入	
		支出額(千円)	主な内訳	(具体例)	収入額(千円)	内訳
			通信運搬費	電話・宅配便	6,248	
			印刷製本	総合パンフレット印刷	6,236	
			旅費	職員旅費	5,082	
			負担金	社会保険料	2,963	
			借料	給茶機リース料	1,946	
			会費等	全国科学博物館協議会会費	1,385	
			諸税	自動車税	944	
			支払手数料	振込手数料	656	
			福利厚生	健康診断	434	
計	509	1,613,178			136,662	

※サービス利用者数の計の数字には、施設貸与者数を含むこと

※収入及び支出の計の数字は、端数処理の関係で積み上がらないこと

＜収支均衡を目指す場合に必要となる料金水準の試算＞

- 収支均衡の可能性を考えるに当たって、私のしごと館の主たる収入である入館料及び体験料をどのように設定することが必要となるかを試算。
 - ・ 「ケース1」として、現在と同じすべてのサービスの提供を維持した場合に、収支均衡を図るために必要となる入館料及び体験料を試算した。
(体験料については、職業体験事業経費(共通経費を除く)を賄う額を、入館料については、職業体験事業経費以外の事業経費と共通経費を賄う額を設定した。)
 - ・ 「ケース2」として、職業体験事業の提供のみを維持した場合に、収支均衡を図るために必要となる体験料を試算した。
(体験料については、職業体験事業経費と共通経費を賄う額を設定した。)

[ケース1]「私のしごと館」において、現在と同じすべてのサービスの提供を維持し、収支均衡を前提とした場合の入館料、体験料

(試算) **職業体験料金**

$$\begin{aligned} & \text{職業体験事業支出額} \quad / \quad \text{職業体験事業利用者} \\ = & 595,517 \text{千円} \quad / \quad 231 \text{千人} \\ \approx & \underline{2,578 \text{円/人}} \end{aligned}$$

・現在の職業体験料金

300円、500円、1,000円

よって、**1,600円～2,300円程度の料金引上げが必要**

(試算) **入館料金**

(職業体験事業以外のしごと館事業支出額－職業体験料金及び入館料金以外の収入額) / 有料入館者

$$\begin{aligned} = & (1,017,661 \text{千円} - 17,482 \text{千円}) \quad / \quad 196 \text{千人} \\ = & 1,000,179 \text{千円} \quad / \quad 196 \text{千人} \\ \approx & \underline{5,103 \text{円/人}} \end{aligned}$$

・現在の入館料金

(個人) 小学生200円、中高生300円、学生500円、一般700円

(団体) 小学生150円、中高生250円、学生400円、一般550円

よって、**4,400円～4,900円程度の料金引上げが必要**

以上、合計すると、**6,000円～7,200円程度の負担増が必要**

[ケース2]「私のしごと館」において、職業体験事業の提供のみを維持し、収支均衡を前提とした場合の体験料

(試算) **職業体験料金**

$$\begin{aligned} & \text{職業体験事業支出額} + (\text{共通経費支出額} - \text{入館料金以外の共通経費収入額}) \\ & \hspace{15em} / \text{職業体験事業利用者} \\ = & (595,517 \text{千円} + (698,566 \text{千円} - 14,735 \text{千円})) \\ & \hspace{15em} / 231 \text{千人} \\ = & 1,279,348 \text{千円} / 231 \text{千人} \\ \approx & \underline{5,538 \text{円/人}} \end{aligned}$$

・現在の職業体験料金

300円、500円、1,000円

・現在の入館料金

(個人) 小学生200円、中高生300円、学生500円、一般700円

(団体) 小学生150円、中高生250円、学生400円、一般550円

よって、**3,800円～5,100円程度の負担増が必要**